

令和4年松本市議会第3回臨時会

市長提案説明

[4.10.31(月) AM10:00]

令和4年松本市議会第3回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様方には、揃って出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

資源価格の高騰に急激な円安が重なり、物価の上昇が続いています。

先月・9月の消費者物価指数は、天候による変動が大きい生鮮食品を除いた指数が、去年の同じ月を3%上回りました。上昇率が3%台となるのは、消費税率引き上げの影響を除けば1991年8月以来、31年1カ月ぶりの水準です。日本銀行も、先週には今年度の物価上昇率の見通しを上方修正しました。

生活必需品の値上がりは、所得の少ない層への負担感が強く、消費回復の逆風にもなっています。こうした状況を受けて、政府は、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」として、低所得世帯に5万円を支給し、長野県も、国の制度の対象とならない低所得世帯に対し、「生活困窮世帯緊急支援金」として、3万円を支給することを決定しました。松本市は、国と県が給付対象とする世帯に対し、冬の暖房代などへの補填として、独自に1万円を支給することとし、今日、関連予算を計上しました。

このほか、政府が9月に創設した「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を財源として、子育て世帯や福祉施設に対する支援を検討中で、早急に予算化できるよう取り組んでいきます。

1ドル=150円前後の円安は、物価高により実質賃金を目減りさせ

る一方、観光や宿泊をはじめとするサービス産業にインバウンド需要の増大をもたらすことが期待されます。大勢の外国人に付加価値の高いサービスを提供して地域経済を活性化すると共に、脱炭素やデジタルの分野で新規投資を促す政策を展開し、「円安を変革の好機」として活かすよう努めてまいります。

DX・デジタル化については、今年2月に「骨太の方針」を策定し、市民の幸福度の最大化や人口の定常化につなげる取組みを進めています。

具体的には、先月中旬から、市民課や全ての地域づくりセンターなど70の窓口で「キャッシュレス決済」を導入したほか、今月1日からは、事業所が松本市に支払いを請求する方法に「電子申請サービス」を導入し、請求書の印刷・押印・郵送にかかるコストを縮減していただくことができるようになりました。

さらに、先週、企業のデジタル実装を促進するベースキャンプと位置づける『デジベース松本』を開所しました。「オンライン会議」や「テレワーク」に関するセミナー、個別の実態に応じた伴走型の支援を通じて、地元中小企業の生産性向上や競争力強化につなげていきます。

昨日1万5000人を超えるサポーターを集めた、サッカーJ3の「信州ダービー」の会場・アルウィンには、特別な熱気に包まれました。隣で観戦した荻原長野市長とは、試合中ほとんど言葉を交わすことなく、激しい攻防に集中していました。終了直後、緊張した空気がほどけて、「いや～面白い試合でしたね」と話しますと、一言「面白かったです」と返していただきました。

「信州ダービー」の勝利は、スポーツの枠を超えて特別な意味を持つと改めて感じたところでもあります。松本山雅には、残り3試合全勝して、逆転昇格を果たすことを期待しています。

それでは、ただいま上程された議案について、ご説明申し上げます。

本日提案した議案は、予算1件、契約2件、財産2件、その他1件の合計6件であります。

令和4年度一般会計補正予算は、先ほど申し上げた、電力・ガス・食料品等の価格高騰により家計への影響が大きい低所得世帯等に対し給付金を支給する経費のほか、「(仮称)イオンタウン松本村井」の中に、福祉ひろばを併設した多世代交流型のこどもプラザを整備するための債務負担行為を設定しています。

契約案件としては、菅野小学校の長寿命化改良事業第1期主体工事、並びに電気設備工事の請負契約2件を提出しています。

次に、財産として、松本市都市計画道路3・2・12号内環状北線整備事業用地、並びに松本城南・西外堀復元事業用地の2件の取得を提出しています。

その他の議案として、相手方との協議が調った、自動車事故に関する和解を提出しています。

議案以外のものとしては、市長の専決処分事項の指定に関わる報告3件を報告しています。

以上、提案した議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以 上)